
川鉄情報システム株式会社

2002年3月期 決算説明会

2002年5月16日

目次

- I . 2002年3月期決算概況
- II . 2003年3月期業績見通し
- III . 今後の事業方針

I . 2002年3月期 決算概況

2002年3月期の業績(対前期)

単位:百万円

	2001年 3月期	2002年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	28,007	30,698	2,691	9.6%
売上総利益	4,644	5,087	443	9.5%
(売上総利益率)	(16.6%)	(16.6%)	—	—
営業利益	1,450	1,655	205	14.2%
(営業利益率)	(5.2%)	(5.4%)	—	—
経常利益	1,306	1,614	308	23.6%
(経常利益率)	(4.7%)	(5.3%)	—	—
当期純利益	653	872	219	33.6%
EPS(円/株)	8,971	11,111	2,140	23.9%

2002年3月期の業績(対計画)

単位:百万円

	2002年3月期		増減	
	計画	実績	金額	率
売上高	30,670	30,698	28	0.1%
売上総利益	5,296	5,087	△209	△3.9%
(売上総利益率)	(17.3%)	(16.6%)	—	—
営業利益	1,609	1,655	46	2.9%
(営業利益率)	(5.2%)	(5.4%)	—	—
経常利益	1,570	1,614	44	2.9%
(経常利益率)	(5.1%)	(5.3%)	—	—
当期純利益	860	872	12	1.5%
EPS(円/株)	10,951	11,111	160	1.5%

売上高増減の要因

前期比増減：+2,691百万円、+9.6%

- ・EC/EDI、CRM、電子帳票システムなど**プロダクトベース・ソリューション事業の増** (+1,099百万円、+21.6%)
- ・製造向け、医療、Webアプリなど川鉄以外の**ビジネスアプリケーション・システム事業の増**
(+1,595百万円、+14.3%)
- ・川鉄向けSI(ビジネスアプリケーション・システム事業)は横這い(△4百万円、△0.0%)

売上総利益増の要因

前期比増減：+443百万円、+9.5%

- ・ EC/EDI、電子帳票システムなど**プロダクトベース・ソリューション事業**の売上総利益率が好転
(18.8%→22.9%、+464百万円)

販売費・一般管理費の増減

前期比増減：+237百万円、+7.4%

- ・販売費(+74百万円)
- ・新入社員教育期間労務費(+188百万円)

等

営業外利益、特別損益の増減

1. 営業外利益の増減

前期比増減：+102百万円

- ・上場関係費用減(+33百万円)
- ・支払い利息減(+25百万円) 等

2. 特別損益の増減

前期比増減：+100百万円

- ・ゴルフ会員権評価損減(+102百万円) 等

事業別売上内訳

単位：百万円

	2001年 3月期	2002年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業計	22,912	24,503	1,591	6.9%
うち川鉄向け	11,734	11,730	△4	△0.0%
うち川鉄以外	11,178	12,773	1,595	14.3%
プロダクトベース・ ソリューション事業計	5,095	6,194	1,099	21.6%
全社計	28,007	30,698	2,691	9.6%

事業別売上総利益内訳

単位：百万円

	2001年 3月期	2002年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業計	3,688	3,666	△22	△0.6%
(売上総利益率)	(16.1%)	(15.0%)	—	—
プロダクトベース・ ソリューション事業計	956	1,420	464	48.5%
(売上総利益率)	(18.8%)	(22.9%)	—	—
全社計	4,644	5,087	443	9.5%
(売上総利益率)	(16.6%)	(16.6%)	—	—

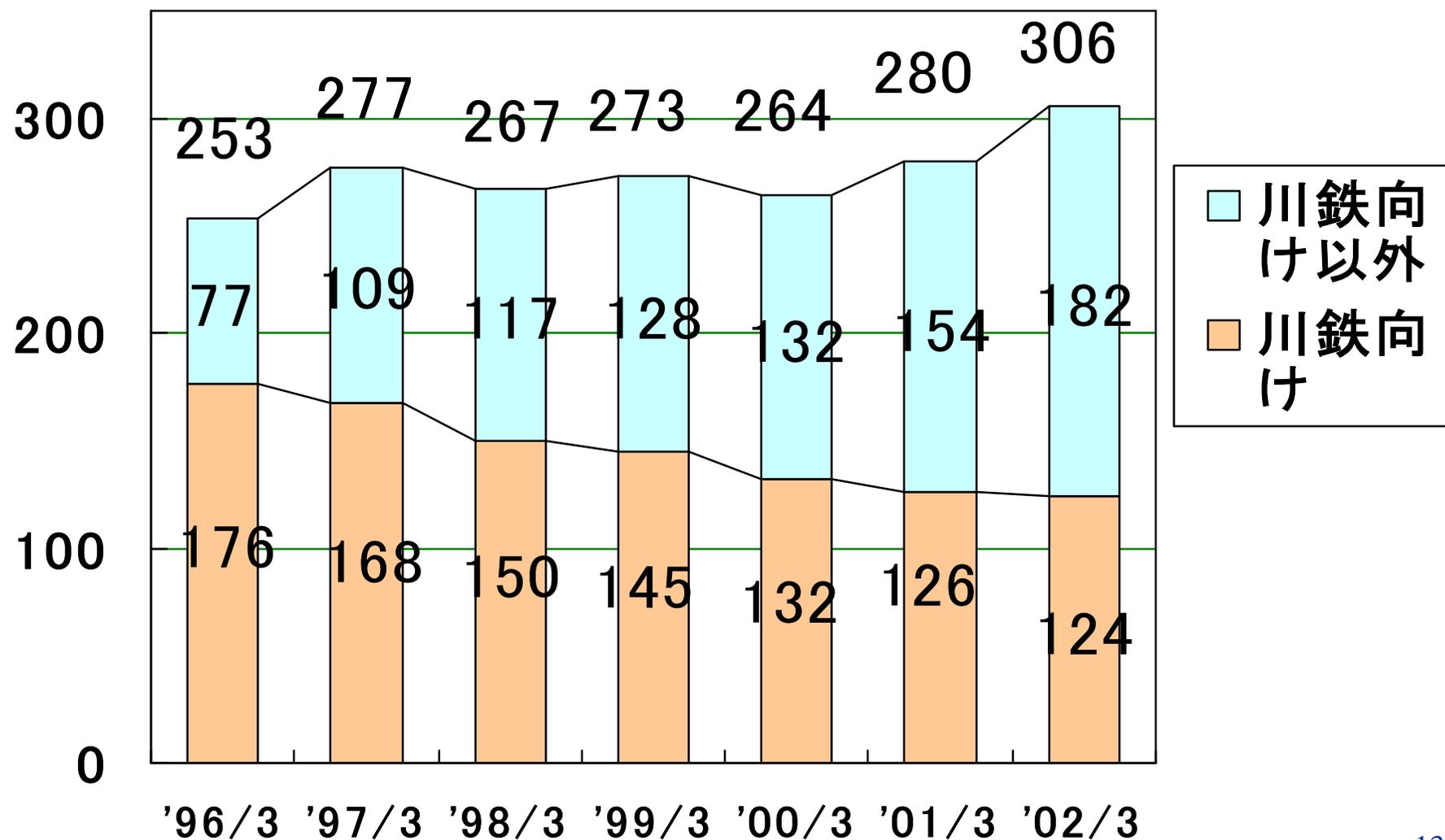
その他経営指標

単位：百万円

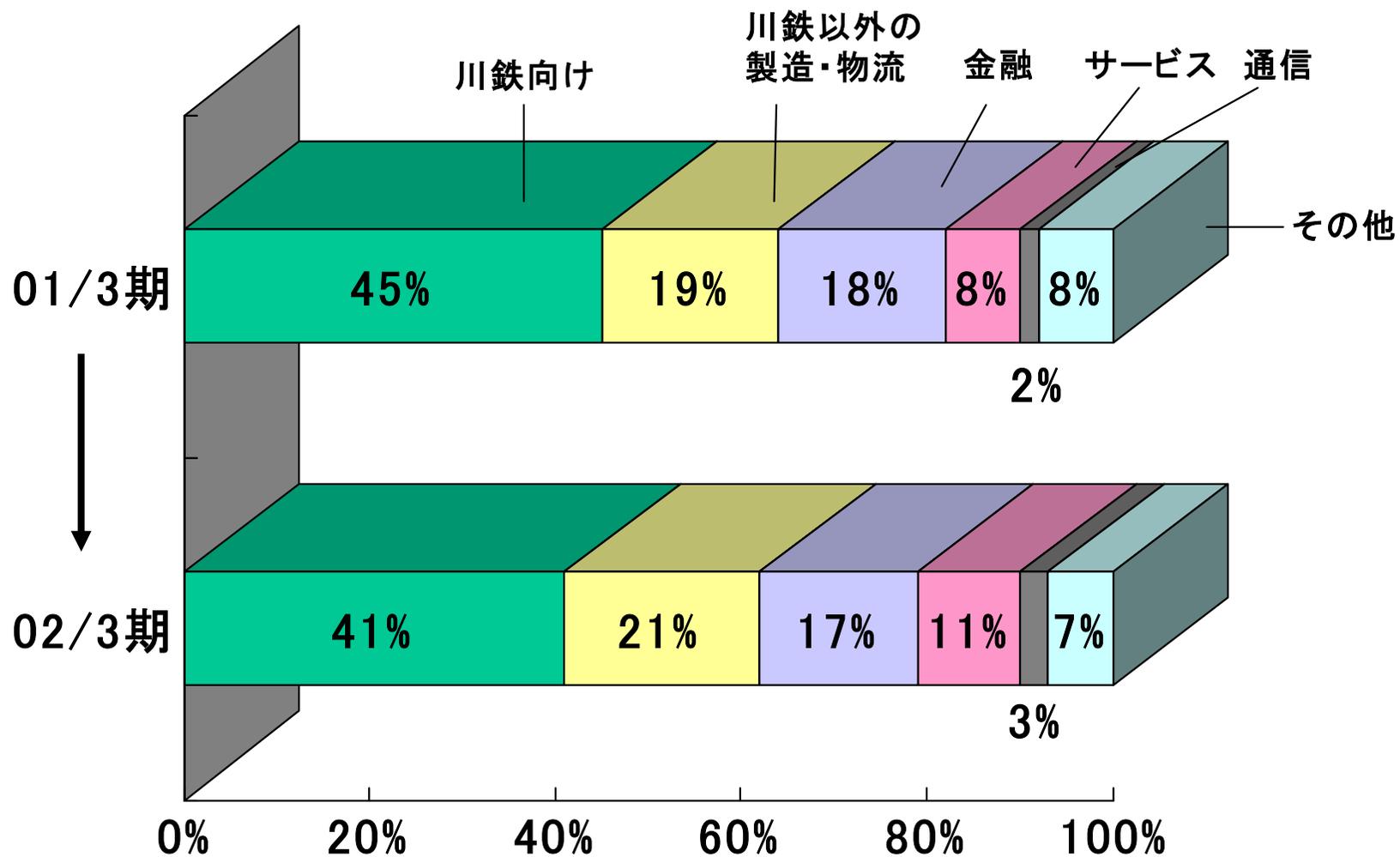
	2001年 3月期	2002年 3月期	増減	
			金額	率
有利子負債	1,688	900	△788	△46.7%
株主資本	5,999	6,442	443	7.4%
総資本	13,482	15,148	1,666	12.4%
株主資本比率	44.5%	42.5%	—	—
ROE	12.8%	14.0%	—	—
従業員数(人)	1,347	1,344	△3	△0.2%
売上高／人	20.8	22.8	2.0	9.9%
経常利益／人	0.97	1.20	0.23	23.9%

売上高の推移

(億円)



販売先業種構成



Ⅱ. 2003年3月期 業績見通し

2003年3月期業績予想(単体)

単位:百万円

	2002年 3月期	2003年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	30,698	32,368	1,670	5.4%
売上総利益	5,087	5,603	516	10.1%
(売上総利益率)	16.6%	17.3%	—	—
営業利益	1,655	1,822	167	10.1%
経常利益	1,614	1,804	190	11.7%
(経常利益率)	5.3%	5.6%	—	—
当期純利益	872	997	125	14.3%
EPS (円/株)	11,111	12,695	1,584	14.3%

2003年3月期事業別売上内訳(単体)

単位:百万円

	2002年 3月期	2003年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業計	24,503	24,896	393	1.6%
うち川鉄向け	11,730	12,087	357	3.0%
うち川鉄以外	12,773	12,809	36	0.3%
プロダクトベース・ ソリューション事業計	6,194	7,472	1,278	20.6%
全社計	30,698	32,368	1,670	5.4%

2003年3月期事業別売上総利益内訳(単体)

単位:百万円

	2002年 3月期	2003年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業計	3,666	3,851	185	5.0%
(売上総利益率)	(15.0%)	(15.5%)	—	—
プロダクトベース・ ソリューション事業計	1,420	1,752	332	23.4 %
(売上総利益率)	(22.9%)	(23.5%)	—	—
全社計	5,087	5,603	516	10.1
(売上総利益率)	(16.6%)	(17.3%)	—	%

2003年3月期経営指標(単体)

単位:百万円

	2002年 3月期	2003年 3月期	増減	
			金額	率
有利子負債	900	540	△360	△40.0%
株主資本	6,442	7,234	792	12.3%
総資本	15,148	16,109	961	6.3%
株主資本比率	42.5%	44.9%	—	—
ROE	14.0%	14.6%	—	—
従業員数(人)	1,344	1,362	18	1.3%
売上高/人	22.8	23.7	0.9	4.0%
経常利益/人	1.20	1.32	0.12	10.3%

川商インフォメーション・テクノロジー株式会社 (KIT)の連結子会社化



事業継承概要：2002年4月1日に当社が67.5%を取得

(FA機器販売関連事業以外の事業を継承)

- ・業績：売上高66億円、経常利益1.8億円(03/3見込)
- ・社員数：233名(2002年4月1日現在)
- ・取得価格：432百万円(16万円/株×2700株)
- ・事業：情報システムの開発/保守(20億円)
情報通信機器の販売/保守(46億円)
- ・株主構成：当社67.5%、川鉄商事32.5%
- ・統合による効果：
商社・流通向けのノウハウ取得
オフコン・中小向けへの展開

KIT 2003年3月期損益見込み

単位：百万円

売上高	6,612	有利子負債	210
売上総利益	1,130	株主資本	499
(売上総利益率)	17.1%	総資本	2,283
営業利益	182	(株主資本比率)	21.9%
経常利益	180	従業員数(人)	229
(経常利益率)	2.7%	売上高／人	28.8
当期純利益	64	経常利益／人	0.78

2003年3月期業績予想(連結)

単位:百万円

	単体	連結	差異	連単 倍率
売上高	32,368	37,251	4,884	1.15
売上総利益	5,603	6,722	1,119	1.20
(売上総利益率)	17.3%	18.0%	—	—
営業利益	1,822	1,969	147	1.08
経常利益	1,804	1,949	145	1.08
(経常利益率)	5.6%	5.2%	—	—
当期純利益	997	1,011	14	1.01
EPS (円/株)	12,695	12,874	179	1.01

2003年3月期事業別売上内訳(連結)

単位:百万円

	単体	連結	差異	連単倍率
ビジネスアプリケーション・システム事業計	24,896	29,929	5,033	1.20
うち川鉄向け	12,087	12,368	281	1.02
うち川鉄以外	12,809	17,561	4,752	1.37
プロダクトベース・ソリューション事業計	7,472	7,472	0	1.00
全社計	32,368	37,251	4,883	1.15

2003年3月期事業別売上総利益内訳(連結)

単位:百万円

	単体	連結	差異	連単 倍率
ビジネスアプリケーション・ システム事業計	3,851	4,970	1,119	1.29
(売上総利益率)	(15.5%)	(17.1%)	—	—
プロダクトベース・ ソリューション事業計	1,752	1,752	0	1.00
(売上総利益率)	(23.5%)	(23.5%)	—	—
全社計	5,603	6,722	1,119	1.20
(売上総利益率)	(17.3%)	(18.0%)	—	—

2003年3月期経営指標(連結)

単位:百万円

	単体	連結	差異	連単 倍率
有利子負債	540	750	210	1.39
株主資本	7,234	7,247	13	1.00
総資本	16,109	17,827	1,718	1.11
株主資本比率	44.9%	40.7%	—	—
従業員数(人)	1,362	1,591	229	1.17
売上高/人	23.7	23.4	△0.3	0.99
経常利益/人	1.32	1.22	△0.10	0.92

Ⅲ. 今後の事業方針

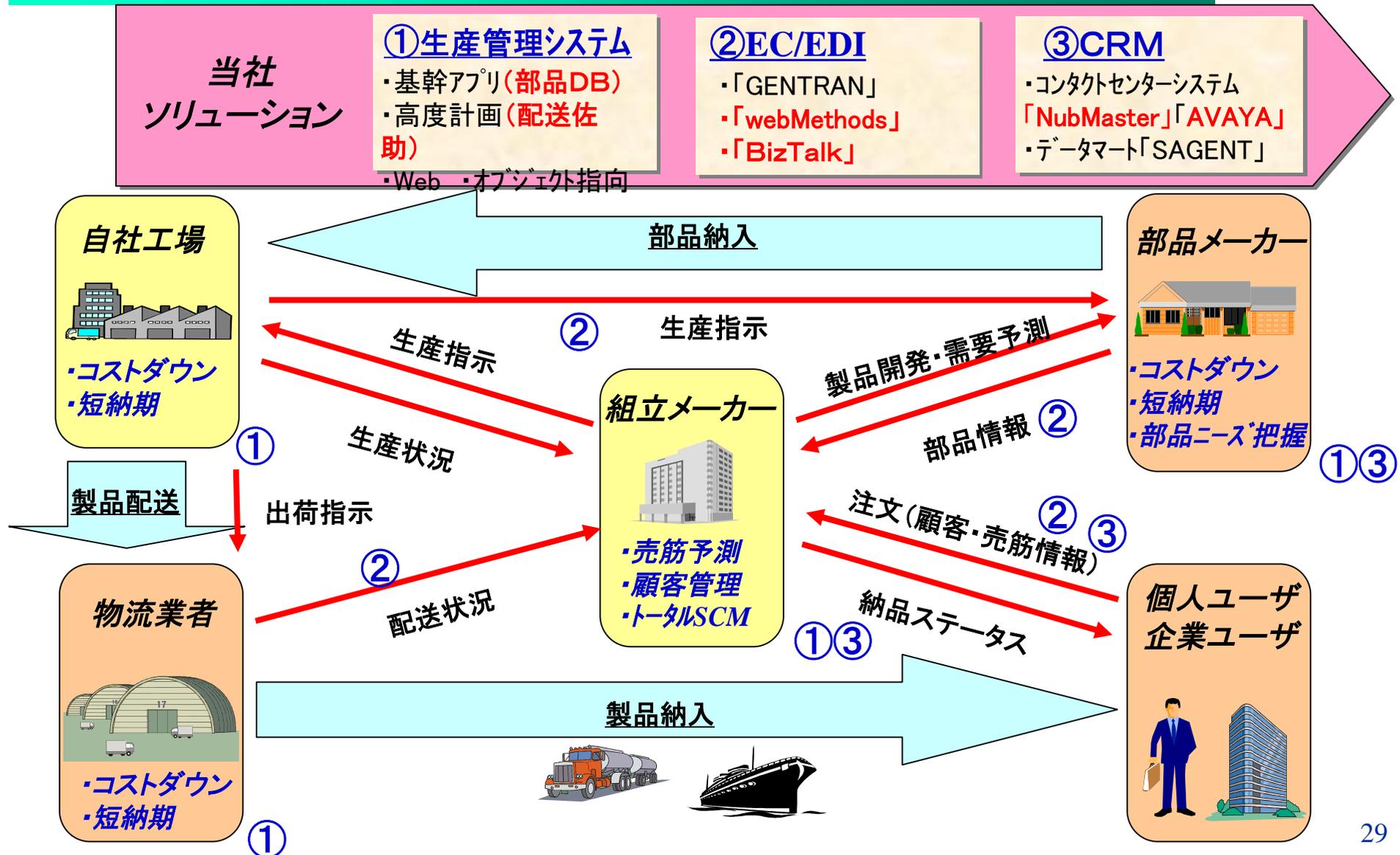
今後の事業方針

1. 事業規模の拡大
 - 部品組立型製造業分野
 - M&A
2. JFEシステム構築の遂行

1-1. 製造業の課題とソリューション

製造業の課題	ソリューション
<ul style="list-style-type: none"> ・企業間・拠点間のプロセス連携による全体最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ・EC/EDI ・Webアプリ、Java ・オブジェクト指向技術 ・高度計画システム ・CRM ・部品情報データベース
<ul style="list-style-type: none"> ・リードタイム短縮 ・ジャストインタイム・デリバリー ・在庫削減 	
<ul style="list-style-type: none"> ・短期間での新商品開発 ・売れる商品の開発 	
<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスサービスレベルの向上 	

1-2. 当社の製造業Eビジネスソリューション



1-3. EC/EDI マーケットトレンドと

当社の取り組み



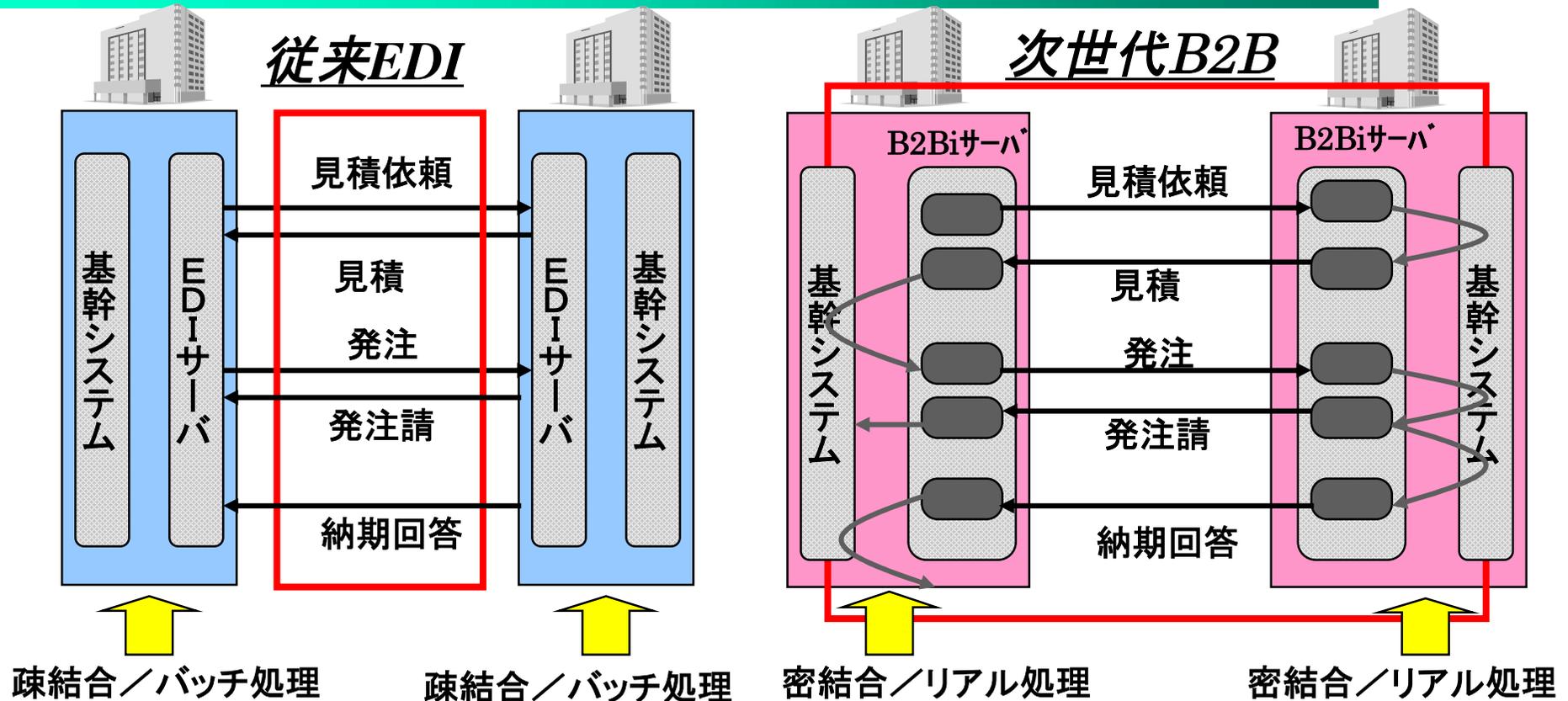
1990年代～

1998年～

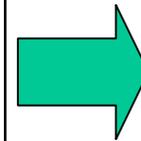
2000年～

2001年～

1-4.次世代EC/EDI(B2Bi)

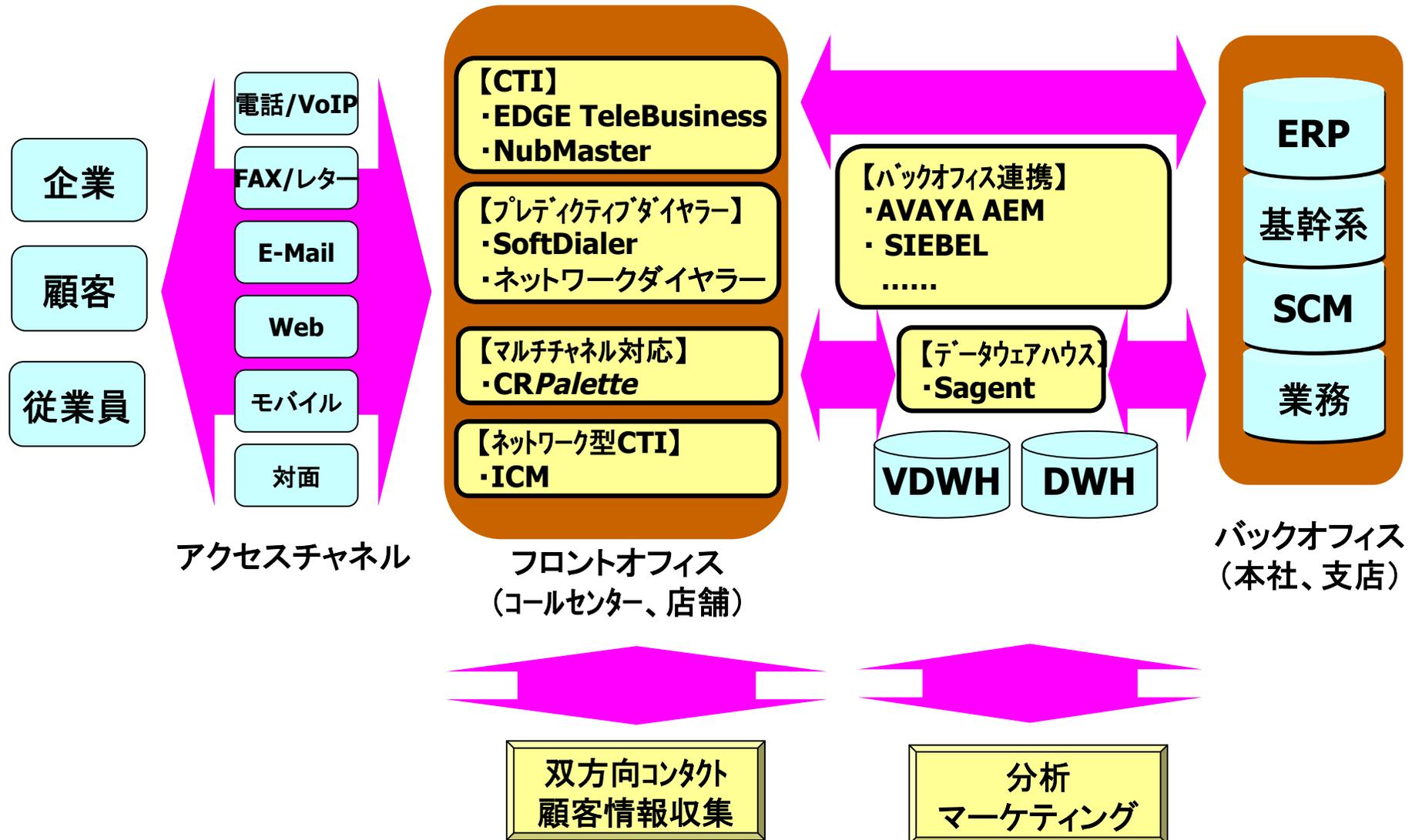


- 両者のビジネスプロセスを同期化・自動化
- 企業間でデータ交換するメッセージだけでなく企業内部でのプロセスも標準化



企業内業務システムを含めたサプライチェーン全体のビジネスプロセスを効率化

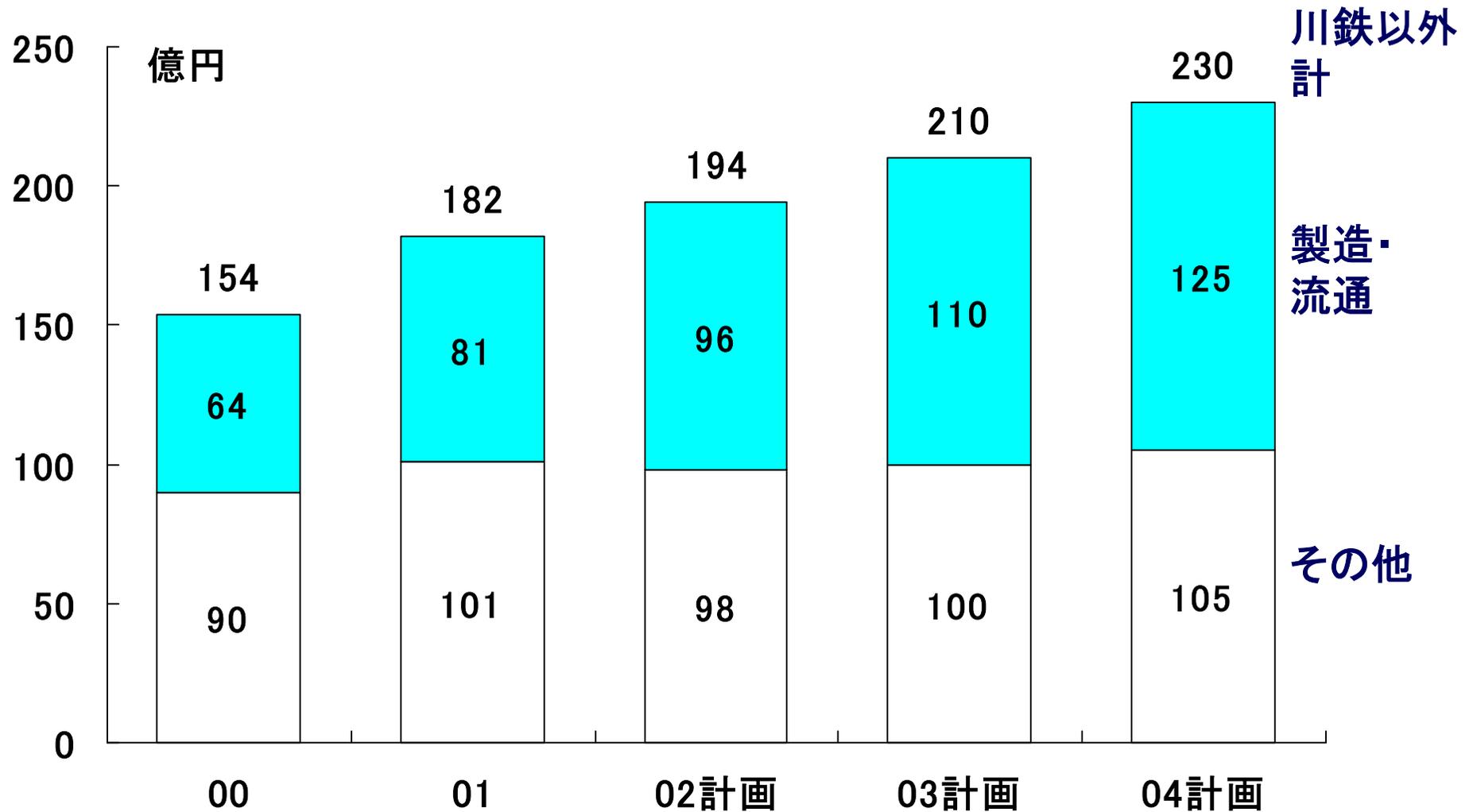
1-5.当社が提供するCRMソリューション



1-6.事業展開のための布石

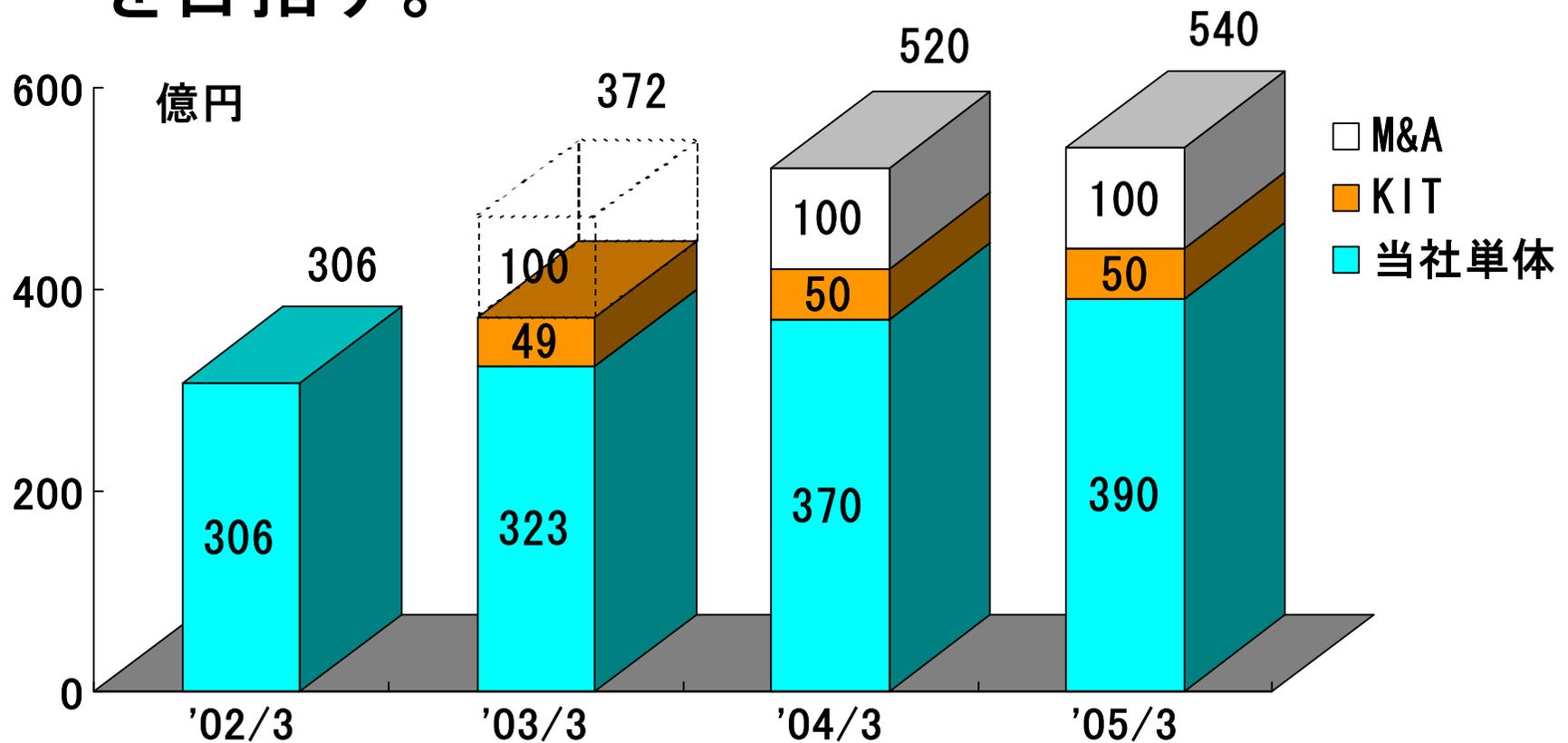
1. **CRM事業強化**のためにコールセンターシステム部門とデータウェアハウス部門を統合(01.7.1)
2. webMethods社、Microsoft社と**BtoB** Eビジネス事業で提携(01.11.6、01.12.17)
3. 配送計画システム「配送佐助」の販売開始(02.2.7)
4. 大手コンピュータメーカーとの連携強化
5. **電子帳票事業**でセコムネット、翼システムと提携(01.12.3、02.2.21)

1-1.業種別売上高推移(川鉄以外単体)



1-8. M&Aによる事業規模の拡大

連結ベース売上高**500億円**、**経常利益30億円**を目指す。



(注) '03/3期以降は連結損益見込みを記載

2-1.川鉄-NKKシステム統合の 確実な実施（～2003/4）

■余裕を持ったテスト期間の確保により
スムーズなシステム移行を果たす。

<～2002年12月>

2社システム連携テストの完了

<2003年1月～3月>

システム運用習熟期間に充当

2-2.JFE次世代システム の早期実現（2003/4～）

■次世代システムの狙い

- ・ 統合効果の早期実現
- ・ Eビジネス環境の提供

■最新ITの適用

- ・ アプリケーションパッケージの適用
- ・ 企業間も含めたシステム連携基盤の採用
(B2BiやEAIツール)

川鉄情報システム株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。